

なかよし・けんこう・どいよく

令和7年11月28日

# 天見小校長室だより 12月号 天見小学校

人の温かみを感じられる学校 みんなで笑顔と元気を作り出せる学校

11月は、校長室から見える桜の木の葉が赤く色づいて、とてもきれいでした。今年  
は、紅葉の色が鮮やかでとてもきれいだなと感じました。今年のようにきれいに色づく年  
とあまり色づかない年があるのはなぜなのか、調べてみました。それは、その年の気象条  
件（特に気温、日照時間、水分量）に大きく左右されるそうです。色づく条件として、  
①十分な日照時間②適切な気温の低下（寒暖差）（最低気温が8℃以下になると色づきが  
始まり、5℃以下になると一気に進み、昼夜の寒暖差が大きいほど、色づきが鮮やかにな  
るそうです。）③適度な水分量（夏から秋にかけて適度な水分があることも重要で、極端  
な水不足は葉が枯れる原因になるそうです。）反対に、色づかない年は秋になっても気  
温が高い日が続いたり、日照時間が少なかったり、適度な雨が降らなかつたりするときれ  
いに色づかないそうです。

なぜ?と思ったことは、今の時代、調べるとすぐに答えを教えてくれるので、便利で  
すよね。これも先人の研究の成果やICT機器の進化のおかげですね。

## 研究発表会「情報活用能力を育むモデル校」

天見小学校では、こういった情報をどう教科の中で活用し、さらなる「なぜ?」という  
探求心を伸ばし、思考や理解を深める研究を大阪府より指定を受けて、研究を続けていま  
す。11月20日（木）には、子どもたちの授業の様子を、県外、市外からもたくさん  
の方が見に来てくださいました。天見小学校が何を大切に学習を進めているのか、日頃から  
勉学に励んでいる子どもたちの様子を思う存分見ていただけたらなあと思っていました。

その日は、運動場が車いっぱいになるくらいの方が見に来てくださいました。子ども  
たちは、たくさんの方が来られていても委縮することなく、普段通りの天見小学校の子ども  
たちらしく頑張っている姿を見せてくれました。「さすが天見小学校の子どもたちだな  
あ。」と感心させられた面がいっぱいありました。参観者の感想には、「子どもたちが生き  
生きと学習に励んでいる様子がとてもよかった。」とお褒めの言葉を数多くいただきました。  
また、「子どもたちが互いに認め合える環境があり、ほんわかと温かい雰囲気の中  
で授業ができてるのが素晴らしい。」ともおっしゃってくださいました。私も天見小学  
校の温かさは「びかいチだ!」と自負しておりましたので、他の学校から来ていただいた  
先生方にも同じように感じていただけたことがとても嬉しかったです。教員も子どもも、  
とても楽しそうに勉強している様子があり、授業の楽しさを子どもたちが感じてくれて  
いることがよくわかります。子どもが楽しいと思える授業を考える教員、楽しいから、次に  
学ぶことに意欲を見せてくれる子どもたち、この相乗効果で、どんどん力がついてくるも  
のだと感じています。次の学習指導要領の中のポイントにもなっている「情報活用能力を  
活かした探求的な学びを深める授業づくり」をこれからも教員一同、頑張っていきたいと  
思います。

## 天小まつり

11月8日（土）・・・天小まつりとオ  
ープンスクールを開催しました。

毎年、たくさんの方が、天見小学校へ

の入学、転入学を考えてこの会に参加してください。4月から天見小学校の仲間とし  
て、一緒に勉強していこうか考えてくださっている方々に、今、頑張っている子どもたち  
の様子を見ていただこうと開催しているのが、天小まつりです。

それは、子どもたちの歌から始まります。私は子どもたちの歌声が大好きです。67人  
の声が100人の声にも200人の声にも劣らない素敵な歌声を響かせてくれるからです。  
高学年はきれいな高い声を響かせ、二部合唱にしてくれたりします。低学年は、元気いっ  
ぱいで主旋律を歌ってくれます。高学年・低学年混ざり合つての天見小学生の歌声を聞  
くだけで、元気が出てきます。何より子どもたちの歌が大好きな理由は、歌ってくれて  
いる子どもたちの表情がたまらなく素敵どころです。「一生懸命が格好いい。」子どもたち  
には、この言葉が一番似合っています。

その声が「昨年より今年」という風にどんどんパワーアップしてきているのを感じます。

3年生の子どもたちが、「後ろから聞こえてくる高学年の高音を響かせている声のとて  
もきれいで、自分たちは地声で歌っていてよいのか。」と感じたそうです。とてもいい発見  
だと思いました。頭声発声の美しさに気づき、自分もそんな声で歌いたいと思ってくれる  
ことがとっても素敵だなと思いました。そして先輩にあこがれ、同じように歌いたいと  
いう気持ちが次々と伝統のように引き継がれていくのであれば最高だなあと感じています。

1年から6年生までの声が響き合い、体育館いっぱい伸びてくる歌を、私は毎回、身  
体をぞくぞくさせながら聞いています。素敵な歌声で歌える環境、恥ずかしがらなく  
ていい環境、みんなが一生懸命になれる環境、自分を出せる環境、子どもたちが素直に「自  
分」でいられる環境がいつもある学校でありたいと、心からそう思います。

中学生も小学生のためにボランティアで一つのブースを受け持ってくださいました。今年  
はモルック。卒業生たちが在校生のために帰ってきてくれるなんて、なんて素敵な学校なん  
でしょう。本当にお手伝いに来てくれた中学生には、「ありがとう」を100回言っても足  
りないくらいです。保護者の方も「モルック」を楽しんでくださっていました。みなさん  
の優しさがこうして実を結び、子どもたちに還元されていることが、めちゃくちゃ嬉しく、  
ありがたく学校長としてお礼しかありません。

子どもたちもがんばりました。わが校の天小まつりは、天見の良さを知ってもらうこと  
を目的として、店の中に天見らしいことを入れないといけません。ただ、楽しいお店を作  
ればいいということだけではいけないのです。来てくださった皆さんに天見の良さがわか  
っていただけるお店を6年生が中心となって全学年の縦割りで作っているというのが素晴  
らしいと思うのです。5つあるお店を「見せるお店」「作るお店」「遊ぶお店」に分かれて、  
作ってくれています。6年生たちが話し合つて、自分たちでどんなお店にするかを決めた  
そうです。1年生にもちゃんと、仕事の役目があって、準備も全員で作っていかなければ  
できません。今年のお店もどの店も楽しかったです。来てくださったお家の方が童心に帰  
り、夢中になって楽しんでくださっている様子も何度も見ました。今年、とうとう天見  
小公式キャラクターまで出来上がりました。「あまあま」ちゃんと、「トトロン」。「ミヤク  
ミヤク」にも劣らないかわいい天見小らしい公式キャラクターだと思いました。

お家の方も、子どもたちも、卒業生も、みんなが楽しめるお店作りを、子どもたちみん  
なで考えてくれてありがとう。この日は、最初から最後まで、みんな大活躍でしたね。

低学年と高学年の二人組でお店を紹介してくれた人たちもとてもいいPRでした。進行  
してくれた皆さんも、自分の言葉で、それぞれのお店のいいところをたくさん発表してく  
れて、とっても良かったです。

そして地域の方にもPTAの方にもたくさんお世話になりました。昨年と同じお店にな  
らないようにと、今年度は、スーパーボールすくいや、缶バッチつくりや、竹切りや、竹  
ぼうくりや、天見小学校の子どもたちだけではできないお店を、地域や保護者の方が受け  
持ってくださいました。子どもたちの経験がまた一つ増えたことは確かです。

天見小学校が皆に愛され、人のつながりが感じられる学校、ぜひ来年も卒業生にお店を  
出してもらいたいと思っています。卒業生も楽しみ、在校生も楽しめるお店を作りたいで  
す。ぜひ、今年度の6年生のみなさん、来年は助っ人として天見小学校に帰ってきてくださ  
いね。来年も、再来年もみんなの力を結集させて、今年と同じように素敵な天小まつりを  
作っていきましょう。同じことをしているようでも、毎年子どもたちは年齢が一つずつ  
上がり、学年により役目が変わっています。これからはみんな一年一年の子どもたちの  
成長を楽しみながら、子どもたちと一緒に歩いていきたいです。